

知って備える 防災メモ

第49回



避難所運営を模擬体験してみませんか

北海道は、実際に災害が起こった際に、各地域で円滑な避難所運営を行うことができるよう、防災教育用教材『避難所運営ゲーム北海道版(愛称: D^oはぐ)』を制作しました。

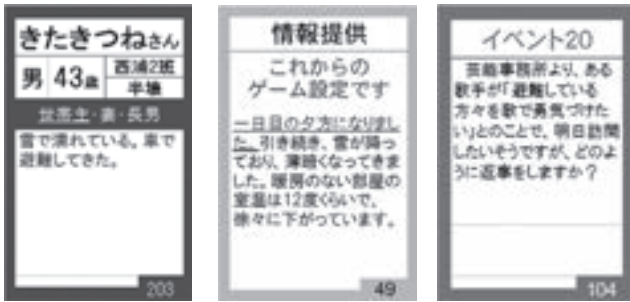
『D^oはぐ』は、避難所運営をゲーム形式で体験するもので、4人から7人までのグループに分かれた参加者が、カードに記載されている

避難者の年齢、性別、国籍、それぞれが抱える事情や避難所内外で起こりうるさまざまな出来事に対し、気象・室温などの環境や時間の変化を考慮しながら、どのように対応していくかをグループ内で協議・検討し、地域の災害対応能力を高めることを目的としています。

市は、町内会などに対して『D^oはぐ』を使った防災研修を行っています。開催を希望する場合は、総務グループまでご連絡ください。



▲カードを使って模擬体験を行い、一人ひとりがどのように行動すると良いか話し合う参加者



▲カードは『避難者カード』(左)、『情報提供カード』(中央)、『イベントカード』(右)の3種類

▼問い合わせ

総務グループ
(☎⁸⁵1130)

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

浮雲R.Dサークル(レクリエーションダンス)

『浮雲R.Dサークル』は平成25年に発足したレクリエーションダンスのサークルです。現在、会員は50代から80代までの女性13人。毎月第2・3火曜日の12時30分から14時30分まで、若草つどいセンターで活動しています。

「レクリエーションダンスは、よりの音楽や演歌、ワルツなど、さまざまな曲に合わせて踊る創作ダンスです。いろいろなステップを踏んで踊ることができ、場所を選ばず、いつでもどこでも楽しむことができますよ。会のモットーは『無理をせず、みんなで楽しく踊りましょう』です」と話すのは、同サークル代表の山本千代子(ちよこ)さん。

和やかな雰囲気の中、みんな楽しく踊って運動不足を解消しています

「若草つどいセンターで会員募集のチラシを見て入会しました。体に負担を掛けることなく、和やかな雰囲気の中でリラックスしながら踊ることができるので、とても楽しいです。これからも続けていきたいですね」と話してくれました。

初心者も大歓迎の同サークル。見学や活動に関する問い合わせは、山本さん(☎⁸⁶2408)まで。



▲曲に合わせてステップを踏み、ダンスを楽しむメンバーの皆さん